

華麗なダンス披露

城南中 18チーム 一体感示す

軽やかなステップ踏む

新宮市立城南中学校で「ダンス発表会」が22日、同校体育館であった。全生徒171人が18チームに分かれ、積み重ねた練習の成果を発揮。息の合った一糸乱れぬ創作ダンスを披露した。



男子チームは会場の爆笑を誘った

発表会は、学習指導要領の改訂により体育科授業の一環としてダンス・武道が必修化された2012年から取り組んでいる。チームで行うことで集団行動の感覚を養い、仲間同士の結束を高めることを目的に、3学期が始まるころから体育科の授業（全10回）で練習に汗を流した。



女子チームのかわいいパフォーマンス

（3年）が「今年は例年と違いコロナ対策をしての発表となりますが、練習の成果を発揮して良いステージを作りましょう。発表者は全力で、見る人は真剣に。みんなで楽しめる発表会にしましょう」とあいさつ。

その後、順次チームが舞台上がり、いろいろなジャンルを取り入れたダンスや個性的なダンス、有名なダンスをアレシ、クラシック、J-POP、ノリの良い曲に合わせるなど、それぞれが圧巻のパフォーマンスを披露した。

中田善夫校長は「皆さんのダンスは、もっと見

ていたいと思わせるほど素晴らしい。見ていた時は大きな拍手で演者をたたえ、一体となっていた。最高のパフォーマンスだった。見ている人に勇気と幸せを与えてくれる。ありがとうございます」と講評。

閉会のあいさつで、体育委員長の大槻虎生くん（3年）は「どのグループもすてきなステージだったと思います。僕たち3年生はこれでダンス発表会は最後になります。1・2年生は、これからダンス発表会を盛り上げてください。お疲れさまでした」と締めくくった。

（茂村振五）